

## 米国 J E T 記念高校生招へい事業について

平成 23 年 7 月 28 日

文化交流課

独立行政法人国際交流基金は、外務省 J E T プログラムにより来日し外国語指導助手として活躍中に、東日本大震災により一命を落とされたテイラー・アンダーソンさん(石巻市・バージニア州出身)とモンゴメリー・ディクソンさん(陸前高田市・アラスカ州出身)の遺志を継ぎ、将来日米の架け橋となることが期待されている米国人高校生を対象に、日本語・日本文化への理解を深め、同世代の日本の高校生たちと交流を深める研修を、2011年から5カ年にわたって実施します。

第1回となる今年は、全米各地から寄せられた276人の応募者の中から選抜された高校生32名を日本に招へいし、7月16日(土)から7月29日(金)にかけて、大阪の国際交流基金関西国際センターを拠点として、大阪府立泉北高等学校や岩手県立不來方高等学校の訪問、両校高校生との交流、ホームステイ、J E T 外国語指導助手(A L T)や国際交流員(C I R)との交流、京都・神戸への研修旅行などを実施しました。

研修期間中、参加者たちは、山中湖で8月1日にひらかれる花火大会「報湖祭」において東日本大震災の犠牲者の慰霊を目的に行われる灯籠流しのために、「あなたたちのために祈っています」、「あなたたちを信じている。あなたたちは独りじゃない」などとメッセージを記した灯籠を作成しました。

